

【問題 1】四字熟語について、漢字の表記が最も適切なものを、次の1～5のうちから選びなさい。

- 1 初志完徹
- 2 百戦練磨
- 3 単純明解
- 4 独断専行
- 5 武者修業

【問題 2】対義語の組合せとして適切ではないものを、次の1～5のうちから選びなさい。

- 1 使命 ⇔ 任務
- 2 過失 ⇔ 故意
- 3 債権 ⇔ 責務
- 4 諮問 ⇔ 答申
- 5 総合 ⇔ 分析

【問題3】次の文章中の空欄（ア）～（エ）に当てはまるものの組合せとして最も適切なものを、後の1～5のうちから選びなさい。

※この問題は、著作権の関係により、掲示できません。

（出典：「太陽の肖像 文集」 奈良原一高 白水社）

- |   |   |     |   |        |   |       |   |     |
|---|---|-----|---|--------|---|-------|---|-----|
| 1 | ア | 革新的 | イ | ややもすると | ウ | 筋書き通り | エ | 神格化 |
| 2 | ア | 儀式的 | イ | ややもすると | ウ | ハプニング | エ | 擬人化 |
| 3 | ア | 革新的 | イ | 絶対に    | ウ | 筋書き通り | エ | 神格化 |
| 4 | ア | 儀式的 | イ | 絶対に    | ウ | 筋書き通り | エ | 擬人化 |
| 5 | ア | 儀式的 | イ | ややもすると | ウ | ハプニング | エ | 神格化 |

【問題4】次の文章中の下線部（ア）～（エ）の現代語訳の組合せとして最も適切なものを、後の1～5のうちから選びなさい。

ある人、弓射ることを習ふに、（ア）もろ矢をたばさみて、的に向かふ。師の言はく、「初心の人、二つの矢を持つことなかれ。後の矢を頼みて、初めの矢に（イ）なほざりの心あり。毎度ただ（ウ）得失なく、この一矢に定むべしと思へ。」と言ふ。

わづかに二つの矢、師の前にて一つをおろかにせんと思はんや。懈怠の心、みづから知らずといへども、師これを知る。この戒め、（エ）万事にわたるべし。

（出典：「徒然草」第92段 兼好法師）

※一部表記を改めたところがある。

- |   |                    |                   |
|---|--------------------|-------------------|
| 1 | （ア） 一つの矢           | （イ） こだわってしまう      |
|   | （ウ） 当たることだけを考えて    | （エ） あらゆることにあてはまる  |
| 2 | （ア） 二つの矢           | （イ） いいかげんにしてしまう   |
|   | （ウ） 当たるか当たらないかを考えず | （エ） あらゆることにあてはまる  |
| 3 | （ア） 一つの矢           | （イ） こだわってしまう      |
|   | （ウ） 当たるか当たらないかを考えず | （エ） いくつかのことにあてはまる |
| 4 | （ア） 一つの矢           | （イ） いいかげんにしてしまう   |
|   | （ウ） 当たることだけを考えて    | （エ） あらゆることにあてはまる  |
| 5 | （ア） 二つの矢           | （イ） いいかげんにしてしまう   |
|   | （ウ） 当たることだけを考えて    | （エ） いくつかのことにあてはまる |

【問題5】次の楽譜は、『和声と創意の試み』第1集『四季』から『春』第1楽章の一部である。この楽曲の作曲者として最も適切なものを、後の1～5のうちから選びなさい。



- 1 モーツァルト
- 2 チャイコフスキー
- 3 ベートーヴェン
- 4 ヴィヴァルディ
- 5 シューベルト

【問題6】 次の記述は、図版が示す彫刻作品について説明したものである。この彫刻作品の作者として最も適切なものを、後の1～5のうちから選びなさい。

日本の伝統的な木彫りの技術に洋風彫刻の写実性を取り入れ、大鷲と格闘した後の猿の姿を表した。



- 1 荻原 守衛
- 2 横山 大観
- 3 黒田 清輝
- 4 高村 光雲
- 5 狩野 芳崖

【問題7】 次の会話文の（ ）に当てはまるものとして最も適切なものを、後の1～5のうちから選びなさい。

A : Well, what do you think of college so far? It's been a month since we started college.

B : Frankly, I think I am too busy. I always thought college students had a lot of free time on their hands.

A : ( ) I need to study until midnight every day, and I don't even have enough time to sleep.

B : Yes, indeed. I'm looking forward to summer break.

- 1 I don't agree with you.
- 2 I think you are right.
- 3 I have another idea.
- 4 That's amazing.
- 5 What a good idea!

KYOSAI-GUILD.COM

【問題8】次の英文の内容と一致しているものとして最も適切なものを、後の1～5のうちから選びなさい。

※この問題は、著作権の関係により、掲示できません。

- 1 In a 15-minute city, people become weaker.
- 2 The idea for the 15-minute city is not being developed in Paris.
- 3 Carlos Moreno is not interested in increasing the quality of life.
- 4 Carlos Moreno believes that the 15-minute-city idea will increase the quality of life.
- 5 In a 15-minute city, people drive very often.

【問題9】19世紀の出来事として適切ではないものを、次の1～5のうちから選びなさい。

- 1 ペリーが浦賀に来航する。
- 2 ドイツ・オーストリア・イタリアが三国同盟を結ぶ。
- 3 大日本帝国憲法が発布される。
- 4 スエズ運河が開通する。
- 5 第一次世界大戦が始まる。

【問題10】次の記述ア～エは、平安時代から江戸時代の日本の貿易について述べたものである。正誤の組合せとして最も適切なものを、後の1～5のうちから選びなさい。

ア 平清盛は日宋貿易の利益に着目し、瀬戸内海の航路を整備し、兵庫の港（神戸市）を整えた。

イ 足利義満は、日本の商船に、海外へ渡ることを許可する朱印状を与えて貿易を勧め、東南アジアの国々に対しても、朱印状をもつ船（朱印船）の保護を求めた。これを朱印船貿易という。

ウ 16世紀、ポルトガルやスペインの商船が平戸（長崎県）などの九州の港に来航し、貿易が盛んに行われた。この貿易のことを南蛮貿易という。

エ 日明貿易は徳川家康が、日本国王として明に朝貢する形をとって始めた貿易のことである。貿易船には、民間の貿易船と区別するために、割印のある勘合を持たせたので、勘合貿易ともいわれる。

- |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | 正 | イ | 誤 | ウ | 正 | エ | 誤 |
| 2 | ア | 正 | イ | 誤 | ウ | 誤 | エ | 正 |
| 3 | ア | 誤 | イ | 正 | ウ | 誤 | エ | 正 |
| 4 | ア | 誤 | イ | 正 | ウ | 正 | エ | 誤 |
| 5 | ア | 正 | イ | 正 | ウ | 誤 | エ | 誤 |

【問題 11】次の記述は、オセアニア州について述べたものである。空欄(ア)～(エ)に当てはまるものの組合せとして最も適切なものを、後の1～5のうちから選びなさい。

オセアニア州はオーストラリア大陸をはじめ、(ア)、パプアニューギニア、そして太平洋に位置する多くの島々を表す地域名である。オセアニア州の国々の国旗の中には(イ)の国旗がえがかれている国が多い。

オーストラリアでは、多文化社会の大切な一員として(ウ)を中心とする先住民の伝統文化を尊重するための努力を続けている。また、(エ)などのつながりによって、幅広い経済活動を通して、アジア諸国との結びつきを強めようとしている。

- |   |              |         |
|---|--------------|---------|
| 1 | ア ニュージーランド   | イ アメリカ  |
|   | ウ ネイティブアメリカン | エ ASEAN |
| 2 | ア シンガポール     | イ イギリス  |
|   | ウ アボリジニ      | エ ASEAN |
| 3 | ア ニュージーランド   | イ イギリス  |
|   | ウ アボリジニ      | エ APEC  |
| 4 | ア シンガポール     | イ アメリカ  |
|   | ウ ネイティブアメリカン | エ APEC  |
| 5 | ア ニュージーランド   | イ イギリス  |
|   | ウ アボリジニ      | エ ASEAN |



【問題 12】 次の記述ア～エは、日本の災害への対応について述べたものである。正誤の組合せとして最も適切なものを、後の1～5のうちから選びなさい。

ア 国や都道府県、市区町村などが災害時に被災者の救助や支援を行うことを公助という。

イ 災害時に住民どうしが協力して助け合うことを自助という。

ウ 防災や減災のためには、津波や洪水など様々な自然災害による被害の可能性や、災害発生時の避難場所などをハザードマップで確認し、対策を立てておく必要がある。

エ 南海トラフの巨大地震に備えて、建物や橋は地震の揺れに強くしてきたが、津波の被害は予想されていないため、津波避難タワーはつくられていない。

- |   |     |     |     |     |
|---|-----|-----|-----|-----|
| 1 | ア 誤 | イ 正 | ウ 誤 | エ 正 |
| 2 | ア 正 | イ 誤 | ウ 誤 | エ 正 |
| 3 | ア 正 | イ 誤 | ウ 正 | エ 誤 |
| 4 | ア 誤 | イ 誤 | ウ 正 | エ 誤 |
| 5 | ア 正 | イ 正 | ウ 正 | エ 誤 |

【問題 13】 次の記述は、「日本国憲法 前文」の一部である。空欄（ア）～（エ）に当てはまるものの組合せとして最も適切なものを、後の1～4のうちから選びなさい。

日本国民は、正当に（ア）された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との（イ）による成果と、わが国全土にわたつて（ウ）のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し、ここに（エ）が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。

- |   |      |      |      |      |
|---|------|------|------|------|
| 1 | ア 選挙 | イ 協和 | ウ 自由 | エ 主権 |
| 2 | ア 任命 | イ 協働 | ウ 文明 | エ 権利 |
| 3 | ア 任命 | イ 協和 | ウ 自由 | エ 権利 |
| 4 | ア 選挙 | イ 協働 | ウ 文明 | エ 主権 |

【問題 14】 次の表は、現在の地方公共団体における選挙権と被選挙権についてまとめたものである。空欄（ア）～（エ）に当てはまる数字の組合せとして最も適切なものを、後の1～6のうちから選びなさい。

	選挙権	被選挙権	任期
都道府県知事	満（ア）歳以上	満（イ）歳以上	（エ）年
市（区）町村長		満（ウ）歳以上	
都道府県・市（区）町村議会の議員			

- 1 ア 18 イ 30 ウ 25 エ 4  
 2 ア 20 イ 25 ウ 20 エ 6  
 3 ア 18 イ 35 ウ 25 エ 4  
 4 ア 20 イ 30 ウ 20 エ 6  
 5 ア 18 イ 25 ウ 20 エ 4  
 6 ア 18 イ 30 ウ 25 エ 6

【問題 15】 次の記述は、「男女共同参画社会基本法（平成 11 年 12 月改正）の条文の一部である。（ア）～（エ）に当てはまるものの組合せとして最も適切なものを、次の1～4のうちから選びなさい。

第一条 この法律は、男女の（ア）が尊重され、かつ、社会経済情勢の変化に対応できる豊かで活力ある（イ）を実現することの緊要性にかんがみ、男女共同参画社会の形成に関し、基本理念を定め、並びに国、地方公共団体及び（ウ）の責務を明らかにするとともに、男女共同参画社会の形成の促進に関する施策の基本となる事項を定めることにより、男女共同参画社会の形成を総合的かつ（エ）に推進することを目的とする。

- 1 ア 自由 イ 生活 ウ 国民 エ 具体的  
 2 ア 自由 イ 社会 ウ 男女 エ 計画的  
 3 ア 人権 イ 生活 ウ 男女 エ 具体的  
 4 ア 人権 イ 社会 ウ 国民 エ 計画的

【問題 16】「新しい人権」についての記述として最も適切なものを、次の 1～4 のうちから選びなさい。

- 1 情報化の進展やメディアの発達によって、個人情報が自分の知らないところで公開される可能性が高まり、「環境権」の保護が主張されるようになった。
- 2 個人が自分の生き方や生活の仕方について自由に決定する権利として「自己決定権」が主張されるようになった。
- 3 経済の発展とともに、公害や環境悪化に苦しむ人が増え、良好な環境を求める権利として「プライバシーの権利」が主張されるようになった。
- 4 社会の変化にともない、多くの「新しい人権」が主張されるようになり、新たに日本国憲法に直接明記された。

【問題 17】次の記述ア～エについて、正しく述べているものの組合せとして最も適切なものを、次の 1～6 から選びなさい。

ア  $(-5)^2 - 3^2 + 6 \times (-2)^3$  を計算すると、 $-82$  である。

イ  $x=51$ 、 $y=23$  のとき、 $x^2 - 4xy + 4y^2$  の値は  $25$  である。

ウ  $x$  についての 2 次方程式  $x^2 + ax + 5a + 8 = 0$  の 1 つの解が  $6$  であるとき、他の解は  $-2$  である。

エ  $\sqrt{n}$  の整数部分が  $5$  となる自然数  $n$  は全部で  $12$  個ある。

- 1 ア と イ
- 2 ア と ウ
- 3 ア と エ
- 4 イ と ウ
- 5 イ と エ
- 6 ウ と エ

【問題 18】 図 1 の  $\triangle OPQ$  は、 $\angle P = 90^\circ$ 、 $OQ = 63\text{cm}$ 、 $PQ = 6\text{cm}$  の直角三角形である。 $\triangle OPQ$  を、辺  $OP$  を軸として回転してできた円錐について考えていく。

この円錐において、図 2 のように、底面の円に内接する正方形  $ABCD$  をとり、正方形  $ABCD$  の各頂点と円錐の頂点  $O$  をそれぞれ結んでできる正四角錐  $O-ABCD$  の体積として最も適切なものを、後の 1~5 のうちから選びなさい。

図 1

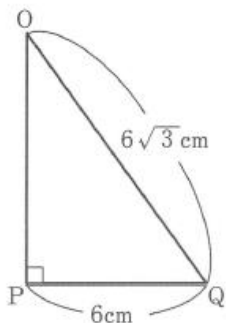
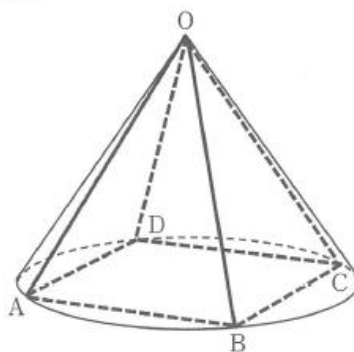


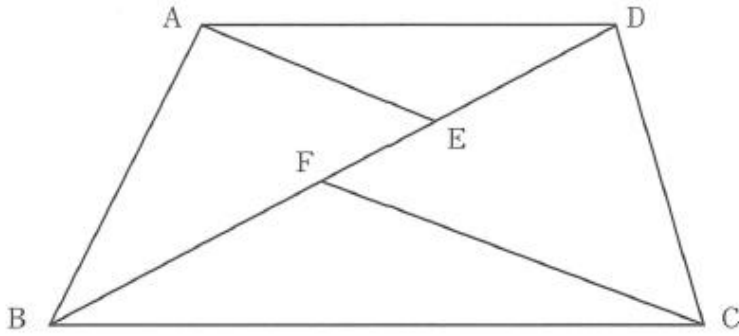
図 2



- 1  $72\sqrt{2}\text{ cm}^3$
- 2  $144\sqrt{2}\text{ cm}^3$
- 3  $216\sqrt{2}\text{ cm}^3$
- 4  $288\sqrt{2}\text{ cm}^3$
- 5  $432\sqrt{2}\text{ cm}^3$

kyosai-guild

【問題 19】 次の図のように、 $AD \parallel BC$  である台形  $ABCD$  に対角線  $BD$  を引き、 $BD$  上に、 $AE \parallel CF$  となる点  $E, F$  をとる。このとき、 $\triangle ADE \sim \triangle CBF$  であることを次のように証明した。空欄 ( ア ) ~ ( エ ) に当てはまるものの組合せとして最も適切なものを、後の 1~5 から選びなさい。



<証明>

$\triangle ADE$  と  $\triangle CBF$  において

$AD \parallel BC$  より平行線の ( ア ) は等しいので  
 $\angle ADE = \angle CBF \dots \dots \dots (1)$

$AE \parallel CF$  より平行線の ( ア ) は等しいので  
 $\angle AEF = \angle ( イ ) \dots \dots \dots (2)$

また  
 $\angle AED = 180^\circ - \angle AEF \dots \dots \dots (3)$

$\angle CFB = 180^\circ - \angle ( イ ) \dots \dots \dots (4)$

(2)、(3)、(4)より  
 $\angle AED = \angle ( ウ ) \dots \dots \dots (5)$

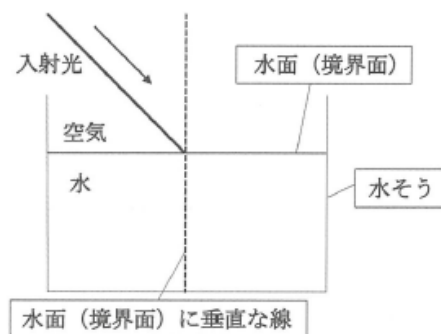
(1)、(5)より ( エ ) ので  
 $\triangle ADE \sim \triangle CBF$

- |   |   |     |   |     |   |     |   |               |
|---|---|-----|---|-----|---|-----|---|---------------|
| 1 | ア | 同位角 | イ | CFE | ウ | BCF | エ | 3組の辺の比がすべて等しい |
| 2 | ア | 錯角  | イ | CFE | ウ | CFB | エ | 3組の辺の比がすべて等しい |
| 3 | ア | 同位角 | イ | ADE | ウ | CFB | エ | 2組の角がそれぞれ等しい  |
| 4 | ア | 錯角  | イ | CFE | ウ | CFB | エ | 2組の角がそれぞれ等しい  |
| 5 | ア | 錯角  | イ | ADE | ウ | BCF | エ | 2組の角がそれぞれ等しい  |

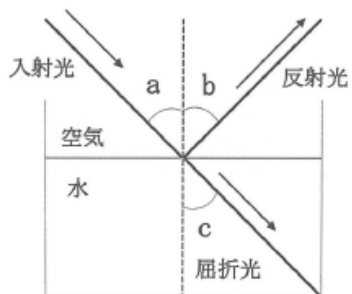
【問題 20】 2つのさいころ A、B を同時に 1 回投げ、さいころ A の出た目の数を a、さいころ B の出た目の数を b とするとき、a と b の和が、a と b の積の約数となる確率として最も適切なものを、次の 1～5 のうちから選びなさい。ただし、2つのさいころ A、B はともに、1 から 6 までのどの目が出ることも同様に確からしいものとする。

- |   |                |
|---|----------------|
| 1 | $\frac{1}{12}$ |
| 2 | $\frac{1}{9}$  |
| 3 | $\frac{5}{36}$ |
| 4 | $\frac{1}{6}$  |
| 5 | $\frac{7}{36}$ |

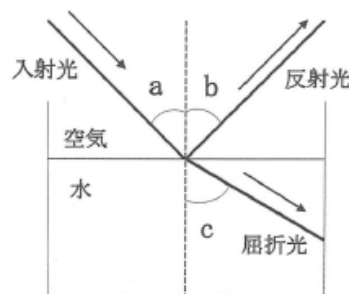
【問題 21】 次の図は、空気中から水そうの水に光を斜めに当て、横から見た様子を模式的に表したものである。このときの光の道すじとして最も適切なものを、後の 1～5 のうちから選びなさい。ただし、選択肢の図中の a～c は水面（境界面）に垂直な線と光の道すじの間の角度を表し、その角度の大小関係を等号、不等号で表している。



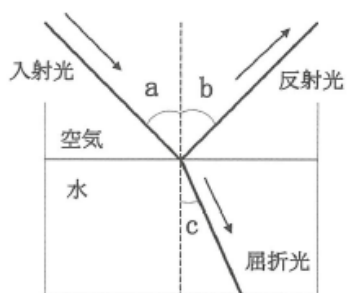
①  $a = b = c$



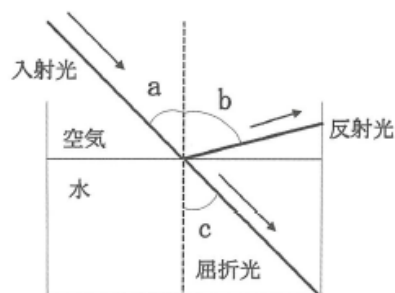
②  $a = b < c$



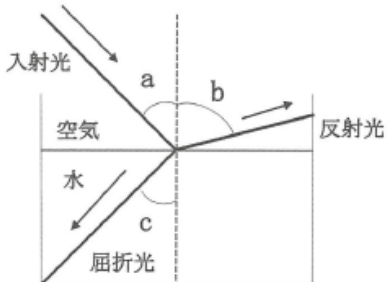
③  $a = b > c$



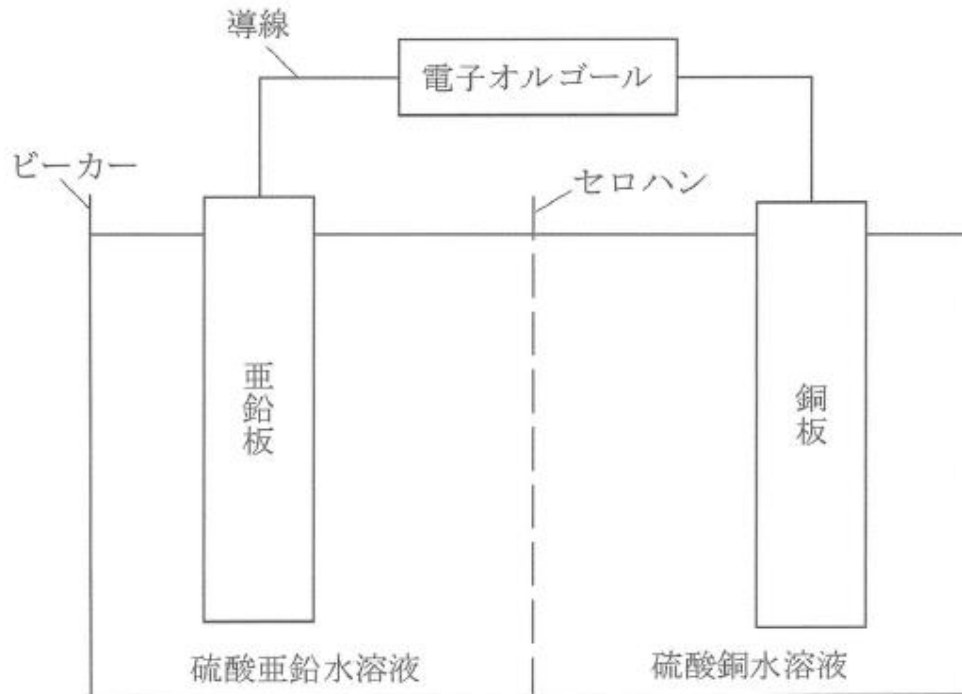
④  $a = c < b$



⑤  $a = c < b$



【問題 22】 次の図のように実験装置を組み立てたところ、電子オルゴールが鳴った。しばらくすると電子オルゴールの音が止まった。このときの亜鉛版及び銅板の表面の変化として最も適切なものを、後の 1～4 のうちから選びなさい。



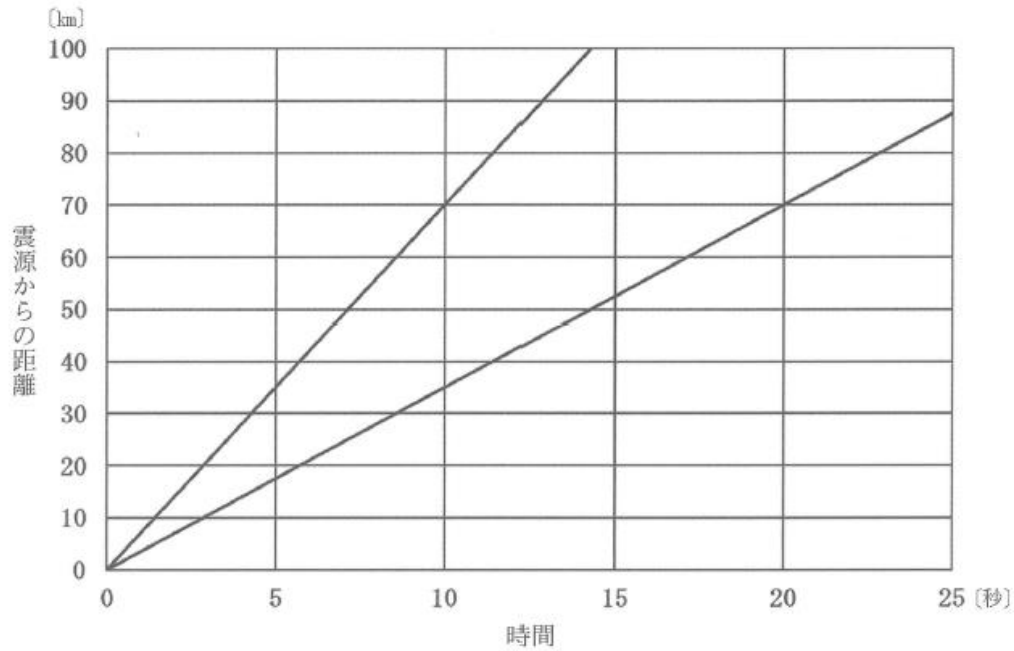
- 1 亜鉛版の表面に新たな亜鉛が付着し、銅板の表面に新たな銅が付着する。
- 2 亜鉛版の表面に新たな亜鉛が付着し、銅板の表面はぼろぼろになる。
- 3 亜鉛版の表面はぼろぼろになり、銅板の表面に新たな銅が付着する。
- 4 亜鉛版と銅板の表面がともにぼろぼろになる。

【問題 23】 植物についての記述として適切ではないものを、次の 1～5 のうちから選びなさい。

- 1 植物は光合成を行い、光のエネルギーを使って、デンプンなどをつくる。
- 2 植物は光合成を行い、二酸化炭素をとり入れ、酸素を出している。
- 3 植物は呼吸を行い、酸素をとり入れ、二酸化炭素を出している。
- 4 植物は細胞の中にある葉緑体で光合成を行う。
- 5 植物は光が当たる昼、光合成を行い、呼吸は行わない。



【問題 24】 次の図は、地震における震源からの距離とその地震による P 波と S 波が届くまでに要した時間の関係をグラフに表したものである。震源から 140 km 離れた場所では、地震発生から何秒後に初期微動が起こるか。最も適切なものを、後の 1～4 のうちから選びなさい。ただし、震源から 140 km 離れた場所までの地形は平坦で、地盤の構造は均一であり、地震の揺れを伝える 2 種類の波はそれぞれ一定の速さで伝わるものとする。



- 1 10 秒後
- 2 20 秒後
- 3 30 秒後
- 4 40 秒後

【問題 25】 次の記述は、「小学校学習指導要領解説 総則編」(平成 29 年 7 月)の〔第 1 章 総説 3 道徳の特別の教科化に係る一部改正 (2) 一部改正の基本方針〕の一部である。空欄 (ア) ~ (ウ) に当てはまるものの組合せとして最も適切なものを、後の 1~5 のうちから選びなさい。

これまでの「道徳の時間」を要として学校の (ア) を通じて行うという道徳教育の基本的な考え方を、適切なものとして今後も引き継ぐとともに、道徳の時間を「特別の教科である道徳」(以下「道徳科」という。)として新たに位置付けた。

また、それに伴い、目標を明確で理解しやすいものにするとともに、道徳教育も道徳科も、その目標は、最終的には「(イ)」を養うことであることを前提としつつ、各々の役割と (ウ) を明確にした分かりやすい規定とした。

- |   |   |        |   |     |   |     |
|---|---|--------|---|-----|---|-----|
| 1 | ア | 体験的な活動 | イ | 道徳性 | ウ | 独自性 |
| 2 | ア | 教育活動全体 | イ | 道徳性 | ウ | 関連性 |
| 3 | ア | 体験的な活動 | イ | 人間性 | ウ | 独自性 |
| 4 | ア | 教育活動全体 | イ | 人間性 | ウ | 関連性 |
| 5 | ア | 教育活動全体 | イ | 人間性 | ウ | 独自性 |

【問題 26】 次の記述は、「中学校学習指導要領解説 総則編」(平成 29 年 7 月)の「第 3 章 教育課程の編成及び実施 第 2 節 教育課程の編成 2 教科等横断的な視点に立った資質・能力 (1) 学習の基盤となる資質・能力」の一部である。空欄 (ア) ~ (ウ) に当てはまるものの組合せとして最も適切なものを、後の 1~5 のうちから選びなさい。

ウ 問題発見・解決能力

各教科等において、物事の中から問題を見だし、その問題を定義し解決の方向性を決定し、解決方法を探して計画を立て、結果を予測しながら実行し、振り返って次の問題発見・解決につなげていく過程を重視した (ア) を教科等の特質に応じて図ることを通じて、各教科等のそれぞれの分野における問題の発見・解決に必要な力を身に付けられるようにするとともに、総合的な学習の時間における (イ) な探究課題や、特別活動における (ウ) の生活上の課題に取り組むことなどを通じて、各教科等で身に付けた力が統合的に活用できるようにすることが重要である。

- |   |   |         |   |         |   |         |
|---|---|---------|---|---------|---|---------|
| 1 | ア | 学びの連続性  | イ | 創造的・発展的 | ウ | 地域社会や学校 |
| 2 | ア | 深い学びの実現 | イ | 横断的・総合的 | ウ | 地域社会や学校 |
| 3 | ア | 学びの連続性  | イ | 創造的・発展的 | ウ | 集団や自己   |
| 4 | ア | 深い学びの実現 | イ | 創造的・発展的 | ウ | 集団や自己   |
| 5 | ア | 深い学びの実現 | イ | 横断的・総合的 | ウ | 集団や自己   |

【問題 27】 次の記述は、「高等学校学習指導要領解説 総則編」(平成 30 年 7 月)の「第 7 章 学校運営上の留意事項 第 2 節 家庭や地域社会との連携及び協働と学校間の連携 1 家庭や地域社会との連携及び協働と世代を越えた交流の機会」の一部である。空欄 (ア)～(ウ)に当てはまるものの組合せとして最も適切なものを、後の 1～5 のうちから選びなさい。

また、(ア)の進行により、日常生活において、生徒が高齢者と交流する機会は減少している。そのため、学校は生徒が高齢者と自然に触れ合い交流する機会を設け、高齢者に対する感謝と尊敬の気持ちや思いやりの心を育み、高齢者から様々な生きた知識や (イ)を学んでいくことが大切である。高齢者との交流としては、例えば、授業や学校行事などに地域の高齢者を招待したり、(ウ)などを訪問したりして、高齢者の豊かな体験に基づく話を聞き、介護の簡単な手伝いをするなどといった体験活動が考えられる。また、異年齢の子供など地域の様々な人々との世代を越えた交流を図っていくことも考えられる。

- |              |               |           |
|--------------|---------------|-----------|
| 1 ア 都市化や核家族化 | イ 人間の生き方      | ウ 高齢者福祉施設 |
| 2 ア 少子高齢化    | イ 多面的・多角的な考え方 | ウ 社会福祉協議会 |
| 3 ア 都市化や核家族化 | イ 人間の生き方      | ウ 社会福祉協議会 |
| 4 ア 少子高齢化    | イ 多面的・多角的な考え方 | ウ 高齢者福祉施設 |
| 5 ア 少子高齢化    | イ 人間の生き方      | ウ 高齢者福祉施設 |

【問題 28】次の記述は、「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編（幼稚園・小学部・中学部）」（平成 30 年 3 月）の「第 7 章自立活動の個別の指導計画の作成と内容の取扱い 2 個別の指導計画の作成手順」の一部である。空欄（ア）～（ウ）に当てはまるものの組合せとして最も適切なものを、後の 1～5 のうちから選びなさい。

個別の指導計画に基づく指導は、計画(Plan)–実践(Do)–評価(Check)–改善(Action)のサイクルで進められなければならない。

まず、幼児児童生徒の実態把握に基づいて指導すべき課題を抽出する。そして、これまでの学習の状況や（ア）を見通しながら、指導すべき課題の相互の関連を検討し、長期的及び（イ）な観点から指導目標（ねらい）を設定した上で、具体的な指導内容を検討して計画が作成される。作成された個別の指導計画に基づいた実践の過程においては、常に幼児児童生徒の学習状況を評価し指導の改善を図ることが求められる。さらに、評価を踏まえて見直された計画により、幼児児童生徒にとってより（ウ）な指導が展開されることになる。すなわち、評価を通して指導の改善が期待されるのである。

- |   |               |       |       |
|---|---------------|-------|-------|
| 1 | ア 育成を目指す資質・能力 | イ 短期的 | ウ 適切  |
| 2 | ア 将来の可能性      | イ 継続的 | ウ 発展的 |
| 3 | ア 育成を目指す資質・能力 | イ 短期的 | ウ 発展的 |
| 4 | ア 育成を目指す資質・能力 | イ 継続的 | ウ 発展的 |
| 5 | ア 将来の可能性      | イ 短期的 | ウ 適切  |

【問題 29】次の記述は、「不登校児童生徒への支援の在り方について（通知）」（令和元年 10 月 25 日元文科初第 698 号）の「1 不登校児童生徒への支援に対する基本的な考え方」の一部である。空欄（ア）～（ウ）に当てはまるものの組合せとして最も適切なものを、後の 1～5 のうちから選びなさい。

(1) 支援の視点

不登校児童生徒への支援は、「（ア）」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要があること。また、児童生徒によっては、不登校の時期が（イ）等の積極的な意味を持つことがある一方で、（ウ）や進路選択上の不利益や社会的自立へのリスクが存在することに留意すること。

- |             |               |          |
|-------------|---------------|----------|
| 1 ア いじめの解消  | イ 休養や自分を見つめ直す | ウ 健康への影響 |
| 2 ア 学校に登校する | イ 休養や自分を見つめ直す | ウ 学業の遅れ  |
| 3 ア いじめの解消  | イ 個性の伸長       | ウ 健康への影響 |
| 4 ア 学校に登校する | イ 個性の伸長       | ウ 学業の遅れ  |
| 5 ア 学校に登校する | イ 個性の伸長       | ウ 健康への影響 |

【問題 30】 次の図は、マズローが唱えた人間の欲求を 5 つの階層に分けたものである。空欄（ ア ）～（ オ ）に当てはまるものの組合せとして最も適切なものを、後の 1～5 のうちから選びなさい。



- |   |                 |                  |         |
|---|-----------------|------------------|---------|
| 1 | ア 尊敬<br>エ 所属・愛情 | イ 自己実現<br>オ 生理的  | ウ 安全    |
| 2 | ア 自己実現<br>エ 安全  | イ 所属・愛情<br>オ 生理的 | ウ 尊敬    |
| 3 | ア 尊敬<br>エ 生理的   | イ 自己実現<br>オ 安全   | ウ 所属・愛情 |
| 4 | ア 尊敬<br>エ 所属・愛情 | イ 自己実現<br>オ 安全   | ウ 生理的   |
| 5 | ア 自己実現<br>エ 安全  | イ 尊敬<br>オ 生理的    | ウ 所属・愛情 |

【問題 31】 発達についての記述として適切ではないものを、次の 1～4 のうちから選びなさい。

1 フロイトは、リビドーと呼ばれる人間の衝動を身体の中のどの部位で求めるかによって、人格の発達段階を分けた。

2 ハヴィガーストの発達理論は、心理社会的発達理論と呼ばれ、ライフサイクルを通じた一生涯にわたる人格発達を 8 つの段階に分けた。

3 ボウルヴィは、母親（あるいは母親代理者）と子どもの緊密な情緒的結びつきを「愛着（タッチメント）」と呼び、この愛着対象との愛着形成が、その後の対人関係のあり方などに影響を及ぼすとした。

4 ヴィゴツキーは、独力では無理でも、他者の援助があれば達成できる水準を発達の最近接領域と呼び、他者との相互作用によって知識を構成していくとした。

1 ア と イ

2 ア と ウ

3 ア と エ

4 イ と ウ

5 イ と エ

6 ウ と エ

【問題 32】 次の記述ア～エは、発達について述べたものである。児童期の発達について、正しく述べているものの組合せとして最も適切なものを、次の 1～6 のうちから選びなさい。

ア メタ認知が次第に発達してく時期であり、自分の認知の状態に気付いたり、目標を設定・修正したりすることができるようになる。

イ 「対象の永続性」は、モノ（対象）が視界から消えても存在し続けることをいう。ピアジェは、これを認知発達の基礎ととらえ、この時期に獲得するものとした。

ウ この時期に、役割遂行、規範、協力、責任感といった人付き合いの仕方（社会的スキル）を身に付けるのが適切である。

エ エリクソンはこの時期の心理社会的危機として、「自我同一性 対 同一性拡散」を示した。

【問題 33】 教育評価についての記述として最も適切なものを、次の 1～4 のうちから選びなさい。

1 授業の前提となる基礎学力の確認や、学習困難の発見とその原因を見極めるためには診断的評価を行うとよい。

2 子どもが学習目標や学習内容をどの程度理解し、達成したかを確認するための形成的評価は単元末か学期末などに行うとよい。

3 形成的評価をするためには、小テストのみを作成して実施すればよい。

4 総括的評価は学習者にとってこれまでの自分の努力や学習の効果を知るためのものであり、教師が指導計画を見直すためには用いないほうがよい。



【問題 34】 ロジャーズが提唱した「クライアント中心療法」におけるカウンセラー及びセラピストの条件についての記述として適切ではないものを、次の 1～4 のうちから選びなさい。

- 1 カウンセラーは、クライアントの体験に対して共感的な理解を示していること。
- 2 セラピストは、無条件に肯定的な配慮を示していること。
- 3 セラピストは、人間として自己一致していること。
- 4 カウンセラーは、クライアントに「こうした方がよい」と指示するように努めること。

【問題 35】 次の記述は、「日本国憲法」の条文の一部である。空欄（ア）～（エ）に当てはまるものの組合せとして最も適切なものを、後の 1～5 のうちから選びなさい。

第十五条 公務員を選定し、及びこれを（ア）することは、国民固有の権利である。

すべて公務員は、全体の（イ）であつて、一部の（イ）ではない。

公務員の選挙については、成年者による（ウ）選挙を保障する。

すべて選挙における投票の（エ）は、これを侵してはならない。選挙人は、その選択に関し公的にも私的にも責任を問はれない。

- |   |   |    |   |     |   |    |   |    |
|---|---|----|---|-----|---|----|---|----|
| 1 | ア | 処分 | イ | 従事者 | ウ | 直接 | エ | 自由 |
| 2 | ア | 処分 | イ | 奉仕者 | ウ | 直接 | エ | 秘密 |
| 3 | ア | 罷免 | イ | 従事者 | ウ | 普通 | エ | 自由 |
| 4 | ア | 罷免 | イ | 奉仕者 | ウ | 直接 | エ | 自由 |
| 5 | ア | 罷免 | イ | 奉仕者 | ウ | 普通 | エ | 秘密 |

【問題 36】 次の記述は、「教育基本法」(平成 18 年 12 月公布) の条文の一部である。空欄 ( ア ) ~ ( エ ) に当てはまるものの組合せとして最も適切なものを、後の 1~5 のうちから選びなさい。

第五条 国民は、その保護する子に、( ア )、普通教育を受けさせる義務を負う。

2 義務教育として行われる普通教育は、各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において ( イ ) 基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる ( ウ ) ことを目的として行われるものとする。

3 国及び地方公共団体は、義務教育の機会を保障し、その水準を確保するため、適切な役割分担及び相互の協力の下、その実施に責任を負う。

4 ( エ ) 学校における義務教育については、授業料を徴収しない。

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1 ア 別に法律で定めるところにより | イ 健康的に生活する       |
| ウ 基本的な資質を養う        | エ 法律に定める         |
| 2 ア 別に法律で定めるところにより | イ 自立的に生きる        |
| ウ 知識と教養を身に付ける      | エ 国又は地方公共団体の設置する |
| 3 ア 満六歳から九年間       | イ 健康的に生活する       |
| ウ 知識と教養を身に付ける      | エ 法律に定める         |
| 4 ア 別に法律で定めるところにより | イ 自立的に生きる        |
| ウ 基本的な資質を養う        | エ 国又は地方公共団体の設置する |
| 5 ア 満六歳から九年間       | イ 自立的に生きる        |
| ウ 基本的な資質を養う        | エ 国又は地方公共団体の設置する |

【問題 37】「学校教育法施行規則」（令和 4 年 4 月改正）に規定された障害に応じた特別の指導（通級による指導）に関する説明として適切ではないものを、次の 1～4 のうちから選びなさい。

- 1 規定に基づき、障害に応じた特別の指導を行う必要がある児童又は生徒を教育する場合に特別の教育課程によることができるのは、義務教育課程の学校であり、高等学校や中等教育学校の後期課程は含まれない。
- 2 規定に基づき、障害に応じた特別の指導を行う対象となる児童又は生徒には、学習障害者や注意欠陥多動性障害者が含まれる。
- 3 当該規定により特別の教育課程による場合においては、校長は、設置者の定めるところにより、障害に応じた特別の指導を行う児童又は生徒が他の学校において受けた授業を、当該学校において受けた特別の教育課程に係る授業とみなすことができる。
- 4 校長は、当該規定により障害に応じた特別の指導を行う児童又は生徒について、個別の教育支援計画を作成しなければならない。

【問題 38】 次の記述は、「いじめ防止対策推進法」（令和 3 年 4 月改正）の条文の一部である。空欄（ア）～（エ）に当てはまるものの組合せとして最も適切なものを、後の 1～5 のうちから選びなさい。

第八条 学校及び学校の教職員は、基本理念にのっとり、当該学校に在籍する児童等の保護者、地域住民、（ア）その他の関係者との連携を図りつつ、学校全体でいじめの防止及び早期発見に取り組むとともに、当該学校に在籍する児童等がいじめを受けていると思われるときは、適切かつ迅速にこれに対処する責務を有する。

第九条 保護者は、子の教育について（イ）責任を有するものであって、その保護する児童等がいじめを行うことのないよう、当該児童等に対し、（ウ）を養うための指導その他の必要な指導を行うよう努めるものとする。

第十三条 学校は、いじめ防止基本方針又は地方いじめ防止基本方針を参酌し、その学校の実情に応じ、当該学校におけるいじめの防止等のための対策に関する（エ）ものとする。

- |   |   |       |   |        |   |      |   |            |
|---|---|-------|---|--------|---|------|---|------------|
| 1 | ア | 児童相談所 | イ | 学校とともに | ウ | 規範意識 | エ | 専門的な組織を置く  |
| 2 | ア | 警察    | イ | 学校とともに | ウ | 正義感  | エ | 基本的な方針を定める |
| 3 | ア | 児童相談所 | イ | 第一義的   | ウ | 規範意識 | エ | 基本的な方針を定める |
| 4 | ア | 警察    | イ | 学校とともに | ウ | 正義感  | エ | 専門的な組織を置く  |
| 5 | ア | 児童相談所 | イ | 第一義的   | ウ | 正義感  | エ | 基本的な方針を定める |

【問題 39】 次の記述は、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（令和 3 年 6 月改正）の条文の一部である。空欄（ア）～（エ）に当てはまるものの組合せとして最も適切なものを、後の 1～5 のうちから選びなさい。

第一条 この法律は、障害者基本法（昭和四十五年法律第八十四号）の基本的な理念にのっとり、全ての障害者が、障害者でない者と等しく、（ア）を享有する個人としてその（イ）が重んぜられ、その（イ）にふさわしい生活を保障される権利を有することを踏まえ、障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本的な事項、行政機関等及び事業者における障害を理由とする差別を解消するための措置等を定めることにより、障害を理由とする差別の解消を推進し、もって全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に（ウ）を尊重し合いながら（エ）する社会の実現に資することを目的とする。

- |   |         |      |         |      |
|---|---------|------|---------|------|
| 1 | ア 基本的人権 | イ 尊厳 | ウ 人格と個性 | エ 共生 |
| 2 | ア 自由と権利 | イ 能力 | ウ 生命と自由 | エ 活躍 |
| 3 | ア 自由と権利 | イ 尊厳 | ウ 生命と自由 | エ 共生 |
| 4 | ア 基本的人権 | イ 能力 | ウ 人格と個性 | エ 活躍 |
| 5 | ア 基本的人権 | イ 能力 | ウ 生命と自由 | エ 共生 |

正答・配点

問題番号	正答	配点	問題番号	正答	配点	問題番号	正答	配点
問題1	4	2	問題18	2	2	問題35	5	3
問題2	1	2	問題19	4	2	問題36	4	3
問題3	5	3	問題20	3	2	問題37	1	3
問題4	2	3	問題21	3	2	問題38	3	3
問題5	4	2	問題22	3	2	問題39	1	2
問題6	4	2	問題23	5	2			
問題7	2	3	問題24	2	2			
問題8	4	3	問題25	2	3			
問題9	5	3	問題26	5	3			
問題10	1	3	問題27	1	3			
問題11	3	3	問題28	5	3			
問題12	3	3	問題29	2	2			
問題13	1	3	問題30	5	3			
問題14	1	3	問題31	2	3			
問題15	4	2	問題32	2	3			
問題16	2	2	問題33	1	2			
問題17	4	2	問題34	4	3			